WORKS

障がい福祉サービス事業所 パラグリーン

新築工事

大阪府枚方市
23年3月竣工
施主　医療法人みどり会
施工　株式会社タモツコーポレーション
木造地上2階建

外観

Bakery&Cafe

就労継続支援B型事業所（定員20名）の新築工事です。1階はベーカリーカフェ、2階は英会話教室、作業室・休憩スペース、隣地には農園を整備しています。利用者の適性にあった、多彩な作業環境を提供できる計画としています。

（細見・馬場）

にしがもさん家ち

新築工事

京都府京都市
23年4月竣工
施主　医療法人社団都会
施工　株式会社岡野組
鉄筋コンクリート造一部木造地上2階建

外観南面

2階事務作業スペース

近隣に点在する法人の施設の職員が利用できる事務所兼フリースペースです。打合せや研修に利用するのはもちろん、昼休みなどの休憩に立ち寄るような使い方も想定されていたので、全体的に木の温かみがありシンプルなデザインとしました。1階は職員や隣接する診療所の利用者が利用する駐車場となっています。

（細見・中村・伊達）

娘とシンガポールに行きました。

シンガポールでは、中国・マレーシア・アラブ・インドにルーツを持つ文化それぞれが尊重されています。旧市街のモスクにムスリムが集まり、熱心にお祈りをされていました。その周辺にはマレー料理やバティック（東南アジアのテキスタイル）の店が並んでいて、ムスリムのコミュニティの中心になっています。

コーランの響くモスクの傍の食堂で、娘は自宅の食卓にいる時と同じようにくつろいでいました。普段接していない文化を自然に受けとめていそうな様子を見て、少し頼もしく感じました。

阿部 麻衣子　Maiko Abe

Editors
富永 斉美　Hitomi Tominaga
浜口 直子　Naoko Hamaguchi
阿部 麻衣子　Maiko Abe
中村 円香　Madoka Nakamura

お問い合わせ・ご相談は

株式会社 京都建築事務所
〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町10番地
TEL:075-211-7277　FAX:075-211-7270
ホームページURL　http://www.kyoto-archi.co.jp/
メールアドレス　info@kyoto-archi.co.jp

とれみ vol.57 2023年9月発行

とれみとは、ラテン語の「tres(3)」と日本語の「笑み」
―施主、施工者、設計者―　三者の笑みを表しています。

京都建築事務所ニュース

とれみ

Vol.57 2023 Autumn

［特集］ RYOKAN GINKAKU KYOTO

弊社が2019年から設計に携わり、2020年秋に着工した旅館 銀閣がこの春に竣工しました。大型の和風旅館は弊社では初めての取り組みです。施工、設計監理共に担当者が工夫を積み重ねた建物を２回にわたってご紹介します。（宮本・丸山・山根）

外観北西面

「旅館 銀閣」は建て替えを機に「RYOKAN GINKAKU KYOTO」へリニューアルオープンしました。JR京都駅から徒歩４分という利便性の良い場所にあり、400名を超える修学旅行生の受け入れが可能な和風旅館です。電気錠カードシステムや監視カメラの導入により防犯、安全性を高め、バリアフリー対応として全客室の床段差を無くすなど、どんな方でも安心して宿泊できる旅館として生まれ変わりました。

設計趣旨

設計にあたっては、銀閣という旅館名にちなんだ京都らしさの表現を心掛けました。慈照寺銀閣が東山文化を代表する建築であることから、能楽、華道、茶道という室町時代から現代に続く日本文化の伝統を踏まえ、きれいさび[1]、京琳派[2]の系譜をデザインの基調としました。またクライアントの強い要望から、水流と滝を外構とロビーのデザインの中心に据えています。

外観については、厳しい法的条件の下で景観にも配慮しながら高層建築を実現するために形状を工夫しています。また勾配庇や屋上庭園、木材、御影石、杉小幅板コンクリート打ち放し仕上、ボーダータイル等、多様な表現と材料を駆使してまとめました。

外観北東面

修学旅行生に京都の伝統と暮らしを学び、体験してもらいたいという思いから、棟名、客室名を京の歴史風土にちなんだ名称とし、そこから連想される和の色彩とデザインでインテリアをまとめています。

各室名の由来について室名サインに記載し、QRコードで詳細を検索できる工夫も施しています。室内には木質材料、石材を多用し、伝統的な和風デザインに遊び心を加味しました。

[1] 閑寂の中に華やかさのある風情のこと
[2] 江戸時代に現れた装飾的な作風を特色とする尾形光琳などの芸術家たちのこと

西玄関夕景

水盤を渡って玄関にアプローチします。玄関の縦格子、庇の軒天井は杉の無垢材を使っています。２階外壁の下見鎧張り仕上は木製のように見えますが、メンテナンスに配慮して、コンクリート下地に木目塗装を施したものです。

東玄関夕景

玄関両側にはオリーブの木を植えました。特に右側の樹形は非常に珍しいものです。鬼門除けを設け、水路の水はここから湧き出し、西玄関に向かって流れていきます。

RYOKAN GINKAKU KYOTO	京都府京都市　2023年３月竣工 施主　株式会社 銀閣 施工　真柄建設株式会社 鉄筋コンクリート造　地下２階　地上９階建

ロビー

四神[3]にちなんで東館を青龍殿、西館を白虎殿と呼び、旅館の中心となるロビーは「麒麟の間」と名付けました。正面奥に「龍銀の瀧」を配し、杉の木縁でシャープに、きれいさびの趣でまとめました。

[3] 中国の神話　四方の方角を司る霊獣のこと

龍銀の瀧

滝は黒御影石の割肌を１階から地下１階に流れ落ち、館内に爽やかな水音を響かせています。

ラウンジ 銀沙灘

和風庭園

ロビーから１段下がって「銀沙灘」と名付けられたラウンジからは、滝と池を配した和風庭園を望めます。旧館から引き継いだ狛犬が睨みをきかせています。

屋上「スカイオアシス昴」

「スカイオアシス昴」と名付けられ、ウッドデッキが敷き詰められた屋上は、東本願寺をはじめ京都市街を一望でき、ビアガーデンやダンス教室として利用される予定です。